

平成26年度子どもゆめ基金体験の風リレーシヨンシップ事業 兼

「体験の風をおこそう」推進月間事業

「チアフルデー～吉備の森感謝でえ～」

平成26年10月19日(日)

1. 事業の目的(趣旨・ねらい)

親子で自然体験活動を楽しむことで、親子のふれあいの大切さを感じたり、他の家族との交流を深めたりすることをねらいとする。

子どもの健やかな成長に体験がいかに大切かを広く発信し、社会全体で体験活動を推進する機運を高めることを目的とする。

2. 事業の概要

(1) 開催日

平成26年10月19日(日)

(2) 参加者

参加対象 一般(幼児から大人まで)

参加者 807名

未就学児 126名(男子 74名・女子 52名)

小学生 299名(男子 163名・女子 136名)

中学生 13名(男子 0名・女子 13名)

高校生 7名(男子 1名・女子 6名)

大学生 17名(男子 2名・女子 15名)

特別支援学校生 0名(男子 0名・女子 0名)

社会人 345名(男性 131名・女性 214名)

遊びオリンピック体験者数

スリッパ飛ばし 129名

ふりふり30秒 78名

羽子板ラリー 120名

(3) 講師等

遊木皆ツリーイングスタッフ 4名

岡山県シェアリングネイチャー協会 2名

カッター研修指導員 1名

ボランティア 17名

(4) 企画・運営のポイント

- ① 広報委員会が中心となり、事前の広報活動、準備、当日の運営に当たった。また、施設ボランティアも、スキルアップの場として当日の運営に加わった。
- ② 「体験の風をおこそう」推進月間事業として遊びリンピックを組み込み、「スリッパ飛ばし」、「羽子板ラリー」、「ふりふり30秒」の3種目を行った。
- ③ 前日開催の事業「吉備の森自然体験会」と連携を図り、宿泊の上、継続参加型とした。
- ④ 県青少協及び地域連携として、岡山県青少年教育センター閑谷学校や山陽新聞社（さん太号）のブース及び高梁少年少女合唱団によるステージの場を設けるとともに、今回は四国ブロックから国立室戸青少年自然の家の応援による「ヤドカリたちプール」による海の生き物と触れあう体験の機会を得ることができた。
- ⑤ 前年に引き続き、音楽的要素を取り入れ、当施設利用団体である高梁少年少女合唱団によるステージを行った。
- ⑥ 体験活動やレストランでの昼食について事前予約を受け付けることで参加者の確保と当日受付の際の混乱回避に寄与した。

3. 活動の内容等

(1) 日程・内容等

活動名	実施時間	内 容
カッター活動	①10:00~11:30 ②14:00~15:30	鳴滝湖でカッター漕ぎを体験してみよう!! (雨天中止) <小学校3年生以下は保護者同伴>※要予約 (各回先着 80人)
砂金採り		河川敷で砂金採り体験をしよう! 粘り強くやれば採れるかも! ? (長靴・裸足・サンダルでの参加) ※ (各回先着 50人)
ネイチャーゲーム		吉備の森を楽しく探検してみよう!! (小雨決行・要雨具) ※要予約 (各回先着 40人)
ツリーイング	①10:00~11:30 ②12:30~14:00 ③14:00~15:30	ロープを使った木登り技術を修得し、吉備の森を楽しもう! (雨天時屋内) <小学生以上> ※要予約 (各回先着 20人 保険代 400円要)
ウォーキング	9:30~15:30	吉備の森を歩き自然と触れ合おう!! 道中には、ちょっとした仕掛けが… (雨天中止)

森のスタジアム		吉備のフィールドアスレチックで元気いっぱい遊ぼう！（雨天中止）<小学生以下>
カプラ（積み木） 折り紙アート 施設紹介		19,000ピースのカプラや折り紙を使って巨大アートを完成させよう！
写真コンテスト		チアフルデーの様子を写真に撮ろう。 撮った写真は kibi@niye.go.jp に送ってね。
おもしろ乗り物遊び	9：30～12：00 13：00～15：30 （15分入れ替え制）	変わった乗り物がいっぱい♪どうやったら動くのか考えてみよう。（小学校2年生以下）（毎回当日先着15人）
木のキーホルダーづくり 紙ブーメランづくり 傘袋ロケットづくり		世界に1つだけのキーホルダーを作ろう！ ブーメランはどうやったら戻ってくるのか考えてみよう。 ロケットの仕組みはどうなってるんだろう？
遊びリンピック （羽子板ラリー、スリッパ飛ばし、ふりふり30秒）	9：30～12：00 13：00～15：30	とことんやって記録をつくれ！！ 上位3位にはメダルと賞状があるよ♪ （後日郵送）
閑谷学校ブース （まが玉づくり、 木エキュービックパズルづくり）		吉備で閑谷学校が体験できるよ♪ この機会に是非！
国立室戸青少年自然の家ブース （ヤドカリたちプール）		吉備に太平洋の海の生き物たちがやってきた！
ステージ	12:10～12:30	高梁少年少女合唱団によるステージがあるよ♪
さん太号（山陽新聞社）	9：30～12：00	今日の思い出を新聞にしよう！

昼食（バイキング）11：30～13：30（レストランきびの森）※要予約

※弁当の持込可能（ただし、飲食場所は指定有り）

(2) 活動の様子



カッター活動



砂金採り



ツリーイング



おもしろ乗り物遊び



遊びリンピック
(羽子板ラリー)



遊びリンピック
(ふりふり30秒)



合唱（高梁少年少女合唱団）



ヤドカリたちプール



木エキュービックパズルづくり



傘袋ロケットづくり



カプラ



ネイチャーゲーム



さん太号



さん太号・号外記事

4. 成果・課題

(1) 成果

- ・ガチャピン・ムックの応援団のロゴを使用することで、より幅広い認知を得ることができ、800名を超える利用者を得た。
- ・前日の事業「吉備の森自然体験会」と連携して広報展開することを通して、同事業参加者に宿泊して引き続きチアフルデーに参加可能なものとした。
- ・多くの家族連れ来場者に複数の活動を体験していただき、好評を得た。（イベント開始から終了まで1日中利用してくれる家族が多かった。）また、体験活動や展示コーナーを充実させることにより、当所の利用方法や提供している活動プログラムに加え、展開中の「体験の風をおこそう」運動の普及啓発を推進した。
- ・「体験の風をおこそう」運動推進月間事業として遊びリンピックを組み込み、「体験の風をおこそう運動」を推進するプログラム構成とした。
- ・高梁少年少女合唱団による合唱及びフォトコンテストを取り入れ、芸術的体験活動の要素を加えた。
- ・昨年に引き続き、岡山県青少年教育センター閑谷学校、加えて、山陽新聞社や国立室戸青少年自然の家等地域連携並びに機構内他施設との連携も図ることができた。
- ・通常の事業とは異なり、施設ボランティアが運営を担当することで更なるスキルアップにつながった。

(2) 課題

- ・実施プログラム数及び利用者数が増大する中で、ボランティアの確保が予定数に達しなかったが、今回は大きな混乱は生じなかった。しかし、更なる利用者も想定に入れて安定的な運営を担保する上では、十分なスタッフ数が必要不可欠である。

担当：総務係長 岡田智宏